県央・宇都宮版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

まちづくり提案全国1位

鹿沼の建築士渡辺さんら3人

最優秀賞を受賞した3人。左から渡辺さん、風間さん、永峰さん

【鹿沼】地域住民によるコミュニティー構築のあり方を競う「ローカル・リバブリック・アワード」の最終審査がこのほど都内で開かれ、坂田山1丁目、一級建築士渡辺貴明さん（33）ら3人が提案した旧市街再生プロジェクト「鹿沼の路地からはじまる小さな経済」が最優秀賞を受賞した。（佐藤慶一）

渡辺さんと同所、会社社長風間教司さん（43）、小山高専建築学科助教永峰麻衣子さん（44）が共同で応募した。同賞は建築家の山本理顕さんらが「住民が互いに生活を支え合う地域コミュニティーのあり方を考えたい」との思いで今年立ち上げた。全国から53点の応募があり、7点が最終審査に残った。

鹿沼が地元の渡辺さんと風間さんは、空き旅館をゲストハウスにしたり民家をカフェに改造するなど、市内の古い建物のリノベーションに取り組み、旧市街に市外の若者が営む個性的な店を呼び込んだ。また「先輩開業者」として開業を志す若者に助言や情報提供を行った。永峰さんは都市計画の専門家として旧市街再生の動きを分析、2人の活動をサポートした。

渡辺さんらは地元住民と若い開業者が助け合い、街を発展させていく仕組みが新しいまちづくりのあり方だと審査員に訴えた。最終審査では①地元の年長者らが、市内外の若手開業者を受け入れ支援していること②開業した若者が地元経済の担い手として地域を活性化させていること―などが高く評価された。

渡辺さんは「街を活性化させていく活動を続けていきたい」と意気込み「2人がいなければ最優秀賞は手にできなかった。鹿沼のみなさんにも深く感謝したい」と話した。

開業者と地元の協力強調

地域の輪 笑顔の和 ⑫

団体サークル紹介

●たちの笑顔が喜び

真岡市八木岡の八木岡城跡に、倒木などを使った木のベンチやテーブル、竹で作られた遊具などが並ぶ。すぐ脇の花壇には季節の花が植えられている。

手作りで整備したのは地域の有志でつくる「花守クラブ」だ。代表を務める[illegible]

メンバーは60代～80代の男性約20人。1992年から活動を始めた。20年ほど前、近くに北関東自動車道のパーキングエリア（PA）ができるという構想が持ち上がり、一段と力を入れるようになったという。「ドライバーに見てもらえるように」と、草が伸び、ごみが捨てられることに喜びを感じて[illegible]

地域のつながりは強まった。現在は毎月第3土曜日に花植えなどを行うほか、近隣の神社や公民館を清掃している。

城跡は、地区の子ども会の行事に合わせて、子どもたちとメンバーが一緒にバーベキューや焼き芋をして楽しむ場にもなっている。上野さんは「子どもたちが自然と触れ合う機会は貴重。自分たちが作ったもので遊んでくれることに喜びを感じて[illegible]

10回記念、市外からも参加

うつのみや市商工会長杯学童野球

奈坪クラブと真岡クラブが熱戦を繰り広げた第10回うつのみや市商工会長杯

【宇都宮】第10回うつのみや市商工会長杯学童野球大会（河内地区野球連合会主催）が17、24の両日に開かれた。10回目の今回は市外からも参加を募り、昨年より5チーム多い、市内外の16チームが熱戦を繰り広げた。

24日は古田運動場で決勝などが行われた。前回王者の奈坪クラブ（宇都宮）と真岡クラブ（真岡）による決勝は、両者ともミスが少ない緊迫した展開となった。終盤に得点を重ねた奈坪クラブが4―2で勝利を収め、2連覇を果たした。

決勝で完投した奈坪クラブの主将野島爽君（12）は「勝ててうれしい。とって最後の大会の県大会でも、す」と話していた。

ダム内部

来月29日上下

【宇都宮】水を高めてもらお下水道局は7月生と保護者を「上下水道探検

事故ゼロ七夕飾り

【鹿沼】鹿沼同署駐車場前にの交通安全七夕した=写真。7地域住民らの目る。

同署員や鹿沼全協会菊沢支部が作業を行った菊沢東小の4菊沢東小の4年生が作った「安全運転いた「安全運転」や「事故防止」など事故防止」など約40枚や、七夕タ飾り作品を

【宇都宮】りの二つの商するオリオン実行委員会は日から6日まで、通りのアーケー

いじめ撲滅や思いやり考える

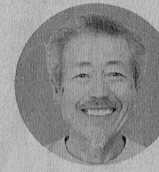
国分寺小人権の花運動

【下野】市人権擁護委員が22日、国分寺小を訪れ、「人権の花」の贈呈やいじめ撲滅や思いやりについて講話する「人権の花運動」を行った。全校児童約60人が、友達同士で協力すること[illegible]

大切さなどを学[illegible]

同運動は栃木啓発活動地域ネ協議会が主催。員と永山登志子し、「いじめを勇気を出して注「一人一人の個みんないい」など「人権の花」と

このまちI Love



宇都宮

駒場 正美さん

子ども一緒に参加できる行事があって、みんなで和気あいあいとやっています。私たちの環境保全の活動にもみんなに来てもらえるよう頑張ります。（福岡町、ビオトープの里ふくおか副会長、65歳）